

トピックス 高校生を対象にアンケートと意見交換会を開催しました。

熊本市立千原台高等学校にご協力いただきました。



アンケートの集計結果については、8ページに詳しく掲載しておりますのでどうぞご覧ください。

令和3年 第3回定例会の概要 9/1~9/27 会期 27日間

● 9月1日 本会議

・開会 ・提案理由説明

● 9月3日、6日~8日 本会議

・一般質問(4日間)

9月7日 議会運営委員会

● 9月13日~14日 予算決算委員会

・総括質疑(2日間)

● 9月15日~16日 予算決算委員会分科会、部門別常任委員会

● 9月22日 予算決算委員会

・分科会長報告、締めくくり質疑、表決

9月22日 議会運営委員会

9月24日 大都市税財政制度・都市問題等特別委員会

9月24日 議会活性化検討会

● 9月27日 本会議

・委員長報告 ・質疑、討論、表決 ・閉会

提出議案と議決結果

市長提出議案	75	件	… 原案どおり可決75件、否決0件
議員提出議案	5	件	… 原案どおり可決3件、否決2件
請願	1	件	… 不採択



一般質問

※新型コロナウイルス感染症への取り組みとして、壇上にアクリル板を設置するとともに、マスク着用の上、質問を行いました。

公明党



井本 正広議員

質問1

緊急時生活支援チームの設置はできないか

自宅療養者への食料・生活必需品・衛生品の買い物・薬の受け取りやゴミ出しなど、市民に寄り添うチームの設置を。

答弁

食料品などの配布に加え、現在、処方薬の対応を検討している。買い物などの支援チームの設置については、他都市事例を研究していく。



質問2

「こうのとりのゆりかご」について

「内密出産制度」導入に向け、法整備について国へ要請するとともに、議員立法を要請してはどうか。

答弁

内密出産制度などの法整備の検討を引き続き国に要望するとともに、議員立法も含め、国民的な議論となるよう最大限の努力をしたい。

市民連合



吉村 健治議員

質問1

ヤングケアラー問題への取り組みと正しい認識を

本市の体制の現状と今後の取り組みは。教職員や生徒などに対し、正しく認識してもらう啓発の必要性は。

答弁

各学校に実態調査を行い、認知度向上と早期発見及び支援に取り組み、早期対応が可能となるよう、教職員などに正しい認識の周知を図る。



質問2

沖縄県辺野古新基地埋め立て問題

防衛省が計画している新基地の埋め立てに、戦没者の遺骨を含む土砂を使用することについての市長の見解を。

答弁

埋め立て土砂の調達手段などについては、国において適切に判断されるものと考えている。

熊本自民



落水 清弘議員

質問1

子どもへのコロナワクチン接種は、一時中止を!

コロナ死亡0名の子ども達へは、米国FDA・CDC^(※1)において正式承認がされていないワクチンの接種は、「一時中止」をしてください!!

答弁

予防接種法に基づき接種しており、その対象年齢について、本市で決定する性格のものではない。



質問2

有明海沿岸連絡道路と新道路ネットワークについて

本県・本市の道路網で最優先と考えられる有明海沿岸連絡道路の早期着工と、中九州道路との連携について。

答弁

当路線は有明海沿岸地域と熊本都市圏を結ぶ構想で大きな効果が期待される。今後は国県と連携し具体化に向け検討していく。

自民党



日隈 忍議員

質問1

40歳～65歳の働く世代のがん対策

働く世代のがんで亡くなる方は年間約300人近い。市民と行政が一体となったがん対策推進条例の制定を。

答弁

市民の健康意識が高まり、がん検診の受診率向上や健康寿命の延伸につながることを考えられるため、条例の制定について研究する。



質問2

藻器堀川と保田窪放水路の管理体制について

河川敷道路は安全確保を最優先と考えるが今後の使用方針は。保田窪放水路の通水確保を含む維持管理計画は。

答弁

車両の通行制限緩和については慎重な判断が必要。維持管理では河川巡視などにより堆積土砂などを撤去し浸水被害の防止・軽減に努める。

共産党



那須 円議員

質問1

新型コロナの自宅療養者の解消を

陽性者の6割が自宅療養です。医療体制強化や宿泊療養施設の拡充を行い、24時間の見守りを。

答弁

自宅療養となった方や家族に、具体的な感染対策を助言するなど家庭内感染の防止に努めており、今後も適切な対応を行っていく。



質問2

住みよい市営住宅へ住環境の改善を

畳替え、給湯器の取り換えなど、遅れている計画修繕の予算拡充を。空き家の修繕を進め、若い世帯の入居促進を。

答弁

長寿命化計画の見直しと予算増額を行い、早期解消に努めている。若年層の入居促進を図る取り組みを本年10月から実施する。

公明党



高瀬千鶴子議員

質問1

医療的ケア児への取り組みについて

熊本市における医療的ケア児等コーディネーターの配置に向けた取り組みの現状は。

答弁

本市が委託する9ヶ所の相談支援センター全てにコーディネーターを配置するよう研修などを実施し、人材の育成に取り組んでいる。

質問2

インクルーシブ^(※2)公園の必要性について

障がいがある子もいない子も、みんなが一緒に遊べる公園の整備が必要と考えるが、市長の考えは。

答弁

知識の普及・意識啓発を目的としたイベント開催や先行事例を踏まえてインクルーシブの実現に向けた公園整備のあり方を検討する。



市民連合



福永 洋一議員

質問1

災害時の地域住民の支援体制について

災害時に住民がどこに避難し、どのような支援が必要かなどのニーズ把握と分散避難の支援体制の整備が必要。

答弁

避難者のニーズ把握などは、地域と行政が一体となって取り組む必要があるため、地域との連携をさらに深めながら体制整備に努める。

質問2

職員の超過勤務の実態把握と健康管理等

コロナ対策により職員の時間外勤務が増大し厳しい状況。実態を把握し健康管理や業務のあり方などの見直しが必要。

答弁

業務執行体制の見直しや効率化、人員体制強化などを通じた時間外勤務の抑制と、産業医面接による心身のケアに取り組んでいく。



自民党



荒川慎太郎議員

質問1

ローラースポーツができる施設整備の必要性

オリンピックで素晴らしい成績を取めたスケートボードなどローラースポーツができる場所の整備が必要では。

答弁

市民の誰もがローラースポーツができる場所が必要と考えており、関係団体と意見交換を行いながら施設確保について検討していく。



質問2

保存に偏った熊本城にバランスよい活用を

城域の保存活用の現状は保存に偏っている。真の意味での保存と活用の両立を推進していく必要があるのでは。

答弁

熊本城保存活用計画に基づき、遺構の保存に努めながら、来場者も楽しめるよう、バランスの良い保存と活用に取り組んでいく。

市民連合



田上 辰也議員

質問1

犯罪被害者への充実した支援に条例の制定を
誰もが理不尽な犯罪に遭う可能性がある。犯罪被害者に寄り添った支援を行うためにも条例を制定すべき。

答弁

支援ニーズなど関係者の意見も伺いながら、他都市の例も参考にしつつ、条例制定を含め、効果的な施策や体制などを検討していく。

質問2

超高齢社会におけるごみステーションの改善を

ごみステーションの管理運営が町内自治会の負担になっている。高齢者が遠くまで運ぶのも困難なため改善を。

答弁

今後も引き続き、負担軽減策について検討していく。また、「ふれあい収集^(※3)」の積極的な周知を行い、さらなる利用の拡大に努める。



熊本自民



藤山 英美議員

質問1

学校プールの統廃合による今後の取り組みは

教職員の働き方改革にどのように繋げていくのか。また、学校間で共同利用を行う場合の効果の考え方は。

答弁

教職員のプール管理等の業務が削減できる。共同利用は、管理費用の削減やインストラクター配置による指導力向上などの効果がある。



質問2

持続可能な市電経営について

交通局の経営形態の見直しに、市電の延伸や市街地の公共交通全般に関するランドデザインの全市的な議論を。

答弁

公共交通全体を見据え、市議会や熊本市公共交通協議会を中心に幅広く議論しながら公共交通の推進に取り組む。

市民連合



村上 博議員

質問1

化学物質過敏症患者への支援策について

微量の化学物質でも体調不良になるなど、生活が困難な患者への行政支援はほぼない。今後の具体的な支援策を。

答弁

発症メカニズムが未解明のため国の研究が進むよう要望するとともに患者に寄り添った相談対応や市民への広報・啓発を行っていく。

質問2

バリアフリーマスタープラン^(※4)策定について

本市独自のマスタープラン策定に、当事者を最初から参加させることが効果的。早い段階から参画の検討を。

答弁

策定過程の早い段階から、障がいのある方をはじめ、高齢者や子育て世帯の関係者などにも参画いただき、広く市民の皆さまのご意見を伺う。



おしえて
ひごまる

- 米国FDA・CDC^(※1) …… FDA(アメリカ食品医薬品局)はアメリカ合衆国保健福祉省配下の政府機関。CDC(アメリカ疾病予防管理センター)は保健福祉省所管の感染症対策の総合研究所。
- インクルーシブ^(※2) …… 「包含性、すべてを含む」という意味で、障がいのある子どもが排除されず、障がいがない子どもたちと共に活動できるような状態を表す意味で使われる。
- ふれあい収集^(※3) …… ごみをごみステーションまで出すことが困難な世帯を対象に、ごみを玄関先まで収集に伺う制度。
- バリアフリーマスタープラン^(※4) …… 駅やバスターミナル等の旅客施設を中心とした地区や、高齢の方や、障害のある方等が利用する施設が集まった地区において、新たに移動等円滑化促進地区を設定し、面的・一体的なバリアフリー化の方針を示すもの。

主な議案の概要

○令和3年度熊本市一般会計補正予算

総額 23億2,624万円(減額補正予算含む)

<新型コロナウイルス関連分の主な内容>

- 新型コロナウイルスワクチン接種経費 …… 13億6,344万円
- 営業時間短縮要請に伴う事業者支援経費 …… 3億9,375万円
- 新型コロナウイルス感染症対策経費 …… 3億6,000万円
- 市税還付金 …… 2億2,000万円

<通常分の主な内容>

- 千葉城地区保存活用関係経費 …… 16億8,064万円
- 地域商業機能複合化推進事業 …… 6,000万円

●…衛生費 ●…商工費 ●…総務費 ●…教育費

○熊本市附属機関設置条例の一部改正について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づく附属機関を設置するため。

<改正内容>

市長の附属機関の新設

- (1) 附属機関名:熊本市移動等円滑化推進協議会
- (2) 設置目的:高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(平成18年法律第91号)第24条の2第1項に規定する移動等円滑化促進方針及び同法第25条第1項に規定する基本構想の作成及び実施に関し必要な事項を協議する。

<施行日>

公布の日

○熊本市現代美術館条例の一部改正について

現代美術館の駐車場に係る駐車料金を改定する等のため。

<改正内容>

- 1 現代美術館の駐車場に係る駐車料金の改定
 - (1) 1時間以内 300円 → 200円
 - (2) 1時間を超え30分までごとに 150円 → 100円
- 2 現代美術館の駐車場に係る駐車料金のうち全日定期駐車券(月極)に関する規定の削除

<施行日>

令和3年(2021年)11月1日

○熊本市環境基本条例の一部改正について

新たな環境課題に係る市の施策を追加する等のため。

<改正内容>

- 1 前文の見直し
近年の環境問題の深刻化を踏まえ、条例の理念を時代に即したものに直すこととした。
- 2 市の施策の追加
良好な環境の確保に関する施策に関し必要な措置を講ずる事項として、次に掲げるものを追加
(1) 生物多様性の保全等の自然共生社会の構築に関すること。
(2) 廃棄物の発生の抑制等による環境への負荷の少ない循環型社会の構築に関すること。
(3) 地球温暖化の防止等の地球環境の保全に関すること。
- 3 環境影響評価の推進に関する規定の追加
環境に影響を及ぼすおそれのある事業を行おうとする事業者が、あらかじめ環境への影響について自ら適正に評価等を行い、その結果に基づいて環境の保全について適正な配慮を行うことができるように、必要な措置を講じなければならないこととした。
- 4 環境教育の推進等に関する規定の追加
市、市民及び事業者は、それぞれの立場において環境教育を推進するとともに、良好な環境の確保に関する知識の習得及び良好な環境の確保に関する活動を担う人材の育成に努めなければならないこととした。
- 5 国等との連携及び国際協力に関する規定の追加
(1) 広域的な解決を必要とする環境課題については、国等と連携及び協力をを行い、解決するよう努めることとした。
(2) 国等、市民及び事業者と連携して、地球環境の保全に関する国際協力の推進に努めなければならないこととした。
- 6 その他規定の整備

<施行日>

令和3年(2021年)10月1日



令和2年度(2020年度)決算の概要

令和2年度における熊本市の一般会計決算は、歳入が4,549億円(前年度比プラス586億円)、歳出が4,444億円(前年度比プラス561億円)となりました。歳入と歳出を単純に差し引くと104億円の黒字の計算になりますが、翌年度へ繰り越すべき財源が53億円あり、差し引いて考えると、実質収支51億円の黒字となりました。この黒字は、令和3年度に繰り越され、歳入の一部となります。

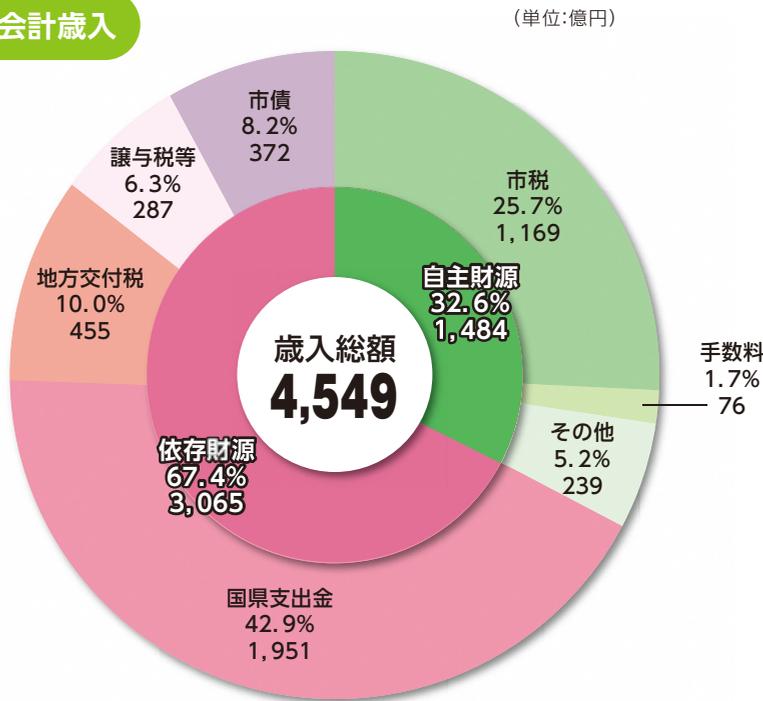
〈一般会計・特別会計〉

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
一般会計	4,548億5,378万円	4,444億4,502万円	104億 876万円
特別会計	2,093億7,181万円	2,010億 490万円	83億6,691万円
合計	6,642億2,559万円	6,454億4,992万円	187億7,567万円

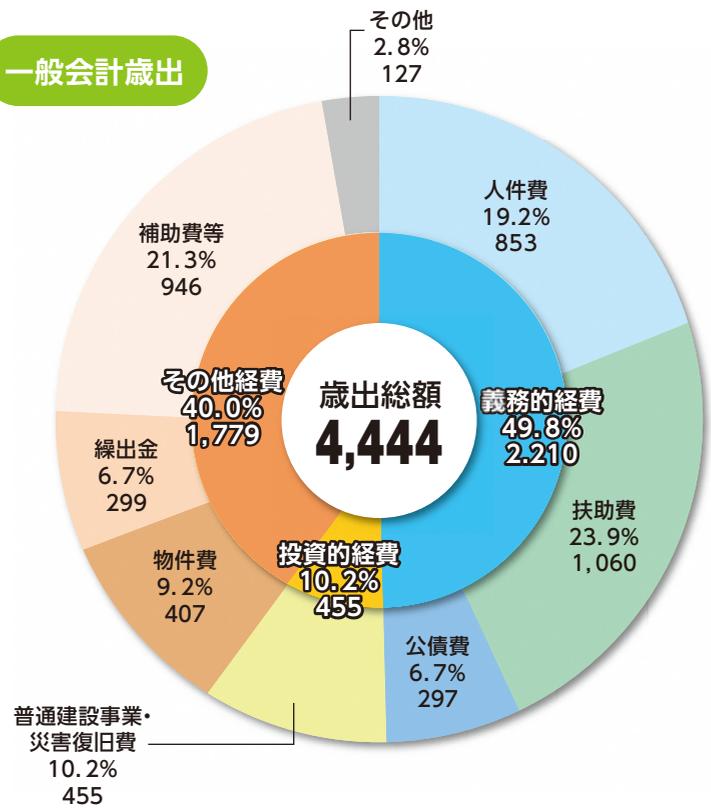
〈企業会計・収益的収支について〉

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
病院事業会計	160億7,520万円	142億7,281万円	18億 239万円
水道事業会計	130億9,455万円	102億5,899万円	28億3,556万円
下水道事業会計	193億1,203万円	175億3,498万円	17億7,705万円
工業用水道事業会計	536万円	498万円	38万円
交通事業会計	18億1,604万円	20億2,063万円	△2億 459万円

一般会計歳入



一般会計歳出



予算決算委員会の審査概要

全議員で構成する当委員会で、令和3年度の当初予算及び関連議案について審査を行いました。質疑の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

総括質疑 (9月13日、9月14日)

熊本自民

- 新型コロナウイルス感染症による歳入歳出への影響**
当初予定していた歳入歳出に対し、新型コロナウイルス感染症による影響は、どのようなものがあったか。
- 新型コロナウイルス感染症にかかる緊急対策**
年度内の支援に家賃と地代で格差が生じた。別途地代についての支援を行うべきではなかったか。
- 「感染防止実践店」の県との連携**
感染防止対策認証制度の導入にあたり、県と連携が図れず、制度の拡充が段階的となったのはなぜか。
- 接待を伴う飲食店の従業員等に対するPCR検査**
中心市街地での飲食店へのPCR検査の成果はどの程度あったと考えるか。
- 企業及び市役所のテレワーク支援**
市役所として具体的な支援を積極的に行ったか。日常業務に支障が出なかったか。



- 本庁舎の基礎杭及び地下連続壁の効果等に関する耐震性能の検証業務委託について**
本事業において、なぜ指定性能評価機関からの評価を受けようとしなかったのか。また、評価を受けた場合はどの程度予算が増額したのか。
- 会計年度任用職員制度の運用について**
不祥事が相次いだ会計年度任用職員。どの様な基準で採用したのか。職員としての研修はどのように行ったか。
- 令和2年度の少子化対策**
2年間で年間出生数が665人減っている。令和2年度の少子化対策に何が足りなかったのか。
- 教育施設の適切な管理**
学校施設の現状を理解した上で予算措置を行えたのか。また、十分な施設の維持管理ができたと考えているか。
- ごみ減量に向けた取り組みは**
ごみ減量に向けて力を入れた事業、新たに取り組んだ事業は。ごみ減量の目標達成ができない理由をどのように分析しているか。
- 雇用創出に繋がる取り組みについて**
産学連携、新製品開発支援などによる製品化の令和2年度までの成果や、企業立地の本年度の成果とそれによる雇用の創出は何人か。

- 質疑12 顧問弁護士の報酬に伴う不用額について**
3名予定した顧問弁護士の委嘱が2名にとどまったのに不用額が少ないのはなぜか。
- 質疑13 ファミリー・サポート・センター事業について**
本事業における支給対象者を正確に見込むことが困難だった理由は。
- 質疑14 地震関連経費の不用額について**
熊本地震後4年目にして、被災者支援のために用意した予算の約4割が不用額となった理由は。
- 質疑15 新型コロナウイルス感染症が債権回収に与える影響**
対面による折衝機会が半分になり、債権回収業務にどのような影響があったか。
- 質疑16 新型コロナウイルス感染症対応下での結核対策について**
結核医療費公費負担額が半減した要因はなにか。
- 質疑17 東部堆肥センター関連事業における入札停止について**
「システムの誤設定によって入札停止になった」とあるが、原因は。
- 質疑18 子育て世帯への臨時特別給付金事業について**
支給対象者数を正確に見込むことが困難であった理由は。
- 質疑19 あんま・はり・きゅう施術に対する新型コロナウイルス感染症の影響度**
施術費の実績が前年の3割減となっているが新型コロナウイルス感染症の影響とは考えられないか。
- 質疑20 熊本城の開園について**
熊本城の完全閉鎖は経済に与える影響が大きい。一定の条件下で特別見学通路だけでも開放するなど柔軟に対応する考えはないか。

自 民 党

- 質疑1 小・中学校体育館の雨漏りについて**
小・中学校体育館は有事の際の避難施設であることはもちろん、第一義には子どもたちの学びの場である。安全で良好な環境は担保されなければいけない。現在、雨漏りしている学校体育館があるが、修繕など、維持管理の計画はできているか。
- 質疑2 ふるさと納税のリニューアル効果と農水産物の活用について**
熊本地震発生時をピークに本市への寄付金額は下降傾向にある。昨年11月に返礼品の見直しがされているが、令和2年度決算にどの程度の効果があったのか。また、ふるさと納税制度を活用した、農水産物のブランド化、競争力の向上について、今後どのように進めて行くのか。
- 質疑3 令和2年度の決算全般について**
決算全般の健全性は担保されているが、住民サービスに通じる事業や運営状況においては様々な指摘を真摯に受け止め次年度以降の財政運営に生かしていただきたい。
- 質疑4 財政の基本的な考え方について**
財政の本質は財源を使わないから財政の健全性が担保されるのではなく、使ってこそ経済成長の足掛かりとすべき。
- 質疑5 需要の低下を踏まえた今後の公共投資について**
これまでの熊本地震の特需や中心市街地の再開発という公共投資があったが、今後はその陰りが表面化すると思うので、コロナ禍だからこそ緊縮財政に気を取られることなく、新たな事業展開にも目を向けておくべき。



- 質疑6 「働き方改革」の推進について**
長時間労働の是正へと組織的に取り組むとともに、業務量の適正化を図り、多様な人材が働きやすい環境の整備を図るべき。また、行政サービスの低下などが指摘される職員削減ありきの定員計画は見直し、必要な人員を確保した実効性の高い定員配置を実現すべきではないか。
- 質疑7 「手話言語条例」制定後の施策の推進について**
条例に規定する各施策について、ろう者の方々や関係団体などとの協議を重ね、合意形成を図りながら着実な事業実現へと取り組むとともに、特に手話通訳者などの派遣事業の充実、及び手話通訳者の待遇改善については、早急な対応を求める。

公 明 党

- 質疑1 財政運営について**
財政調整基金の取り崩しにより、一般会計の実質単年度収支が2年連続赤字である。今後は、熊本地震関連の借入分について公債費の返済が本格化するため、臨時財政対策債も含む借入金返済額の推移に注意し、財政運営を行ってほしい。
- 質疑2 水害対策について**
毎年起こる歴史的大雨による災害を踏まえた災害対策事業の見直しや再検討の必要性は。また、今までの江津湖周辺の歴史的な水害に対する改善と今後の取り組みや、災害防止策の継続と地域要望の対応を問う。
- 質疑3 災害協定企業との連絡体制**
昨年の豪雨災害時には、連絡がつかずに支援物資の送付に時間を要した。現在の連絡把握状況は。160を超える災害協定企業との緊急時に連絡が取れる体制整備を。
- 質疑4 「校区社協行動計画」の策定支援**
昨年度、策定に向けて「支援をした」その内容は。また、未設定校区への「支援」などの課題に、今後本市は本当に取り組んでいくのか。



- 質疑5 ストレスチェック制度の効果と期待**
職員のメンタルヘルス不調を未然に防止するためにも、ストレスチェックの全員受験と必要性の周知を。
- 質疑6 CKD対策(※5)で医療費削減へ**
本市がCKD対策に取り組んだ結果、10年間で、25億7400万円程度の医療費削減が出来たことは、大いに評価したい。これまで以上に、市民の皆様が生涯を通して、生き生きと暮らせるよう、着実な対策の推進を期待。

共 産 党

- 質疑1 中止された熊本城マラソンへの負担金支出はやめるべき**
中止された熊本城マラソンへの4,593万円の負担金支出は不当。花火大会や火の国まつり同様に支出はやめるべき。
- 質疑2 市庁舎整備問題では、山下設計に委託された耐震性能評価に疑義あり**
「すべての杭が損傷」という山下設計の耐震評価は、市制100周年記念誌に記載の「M7.9の2倍クラスに持ちこたえる耐震構造」に反する不当なものである。



締めくくり質疑 (9月22日)

令和2年度熊本市各会計(公営企業会計を除く)決算について

- **新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理料の増額について:** 新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業者が厳しい経営状況の中、黒字の外郭団体への指定管理料増額や、熊本城ホールへの3億円の補てんに、市民の理解は得られない。



おしえて
ひごまる

CKD(慢性腎臓病)対策(※5) …………… CKDとは、腎臓の働きが徐々に低下していく様々な腎臓病の総称。本市ではその予防・悪化防止として、啓発活動やかかりつけ医から腎臓専門医に適切なタイミングで紹介する「病診連携システム」を構築し、運用している。

総務

●救急車の病院収容時間について

医師会や救命救急センター、受け入れ病院と連携を図り、さらなる時間短縮に努めてもらいたい。



●自治会などの補助金申請のオンライン化について

来年度から開始される補助金申請のオンライン化にあたっては、自治会などに対し、事前に十分な説明を行うとともに、きめ細やかなサポートを求めたい。

教育市民

●いじめ問題について

学校現場の教職員に対し、現場でのいじめを絶対に見逃さないという意識を持ってもらうとともに、適正に対処できなければ、いじめ問題の和解などに市民の税金が使われるという認識を徹底させ、いじめ問題の根絶に向け鋭意取り組んでもらいたい。

●消費者センターの取り組みについて

若者向けにSNSを活用した消費生活相談を導入するなど、幅広い層に対応した相談体制の構築を求めたい。また、専門的研修の実施により相談員のさらなるスキルアップを図ってもらいたい。



厚生

●新型コロナウイルスワクチン接種について

接種を希望する受験生への優先予約枠の確保などに配慮してもらいたい。



●家庭におけるコロナ感染時の支援について

コロナ感染により一時保護が必要な子どもが増加した場合に対応できるよう、関係部署が連携し、受け入れ施設や定員数の確保を求めたい。また、保護者などが感染した際の支援メニューの内容について、わかりやすく周知・案内するなど、保護者などの不安解消に向け取り組んでもらいたい。

環境水道

●全国都市緑化フェアについて

コロナ禍における開催には困難を伴うと思うが、本市を世界にアピールする絶好の機会と捉え、フェアの成功に向け着実に準備を進めてもらいたい。

●ごみ分別アプリについて

利便性やペーパーレス化の観点から、地域の集会の場や公共施設の窓口での周知・勧奨を行い、さらなる普及啓発に努めてもらいたい。



経済

●飲食店等感染防止対策の推進について

県の認証制度への移行に伴い、市の認証済店舗においても新たに申請手続きが必要となることから、県と連携し、市の認証済事業者の負担軽減に向けた取り組みを求めたい。



●UIターンによる人材確保支援について

本市への就業及び移住促進に向け、制度の充実や丁寧な相談支援に努めるとともに、移住希望者のうち農業に関心のある若者については関連部署と連携し、農業後継者の育成につながるような取り組みを求めたい。

都市整備

●バリアフリーマスタープランの策定について

策定過程において、実際に車いすでの移動を体験するなど、障がいのある方などの目線に立った取り組みを求めたい。



●道路などの除草業務について

SNSを活用した除草箇所の情報集約や除草ロボットなどのAIを導入するなど、より効率的かつ先進的な手法を研究してもらいたい。

可決された意見書

市議会では、国会または関係行政庁に意見書を提出することで、議会としての意思を表明します。第3回定例会では、2件の意見書が可決(内1件が全会一致)されました。

発議第14号	選択的夫婦別姓制度について積極的な議論を求める意見書について
発議第15号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

※発議第14号は、全会一致で可決されました。

[発議第14号 選択的夫婦別姓制度について積極的な議論を求める意見書について]

平成30年2月に内閣府が公表した世論調査において、夫婦同名も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓制度の導入に賛成又は容認すると答えた国民は66.9%であり、反対の29.3%を大きく上回ったことが明らかになりました。しかし、現行の民法では、婚姻時に夫婦のいずれか一方が姓を改めることと規定しています。このため、社会的な信用と実績を築いた人が望まない改姓をすることで、自己同一性を喪失し苦痛を伴う、一部の資格証では旧姓の使用が認められない、姓を維持するために法的な保障の少ない事実婚を選択せざるを得ないなどの問題が生じています。政府

は旧姓の通称使用の拡大の取組を進めていますが、ダブルネームを使い分ける負担の増加、社会的なダブルネーム管理コスト、個人識別の誤りのリスクやコストを増大させる等の問題も指摘されています。

また、少子高齢化による一人っ子同士の結婚や子連れ再婚、高齢での結婚が増え、改姓を望まないと考えた人や、現行の民法では改姓をしなければならないことから結婚を諦めてしまう人がいるため、一層、非婚や少子化につながる要因にもなっています。このような状況から、国連の女子差別撤廃委員会は、日本政府に対し、女性が婚

姻前の姓を保持する選択を可能にするよう再三にわたり民法の改正を勧告しています。

さらに、平成27年12月の最高裁判決に引き続き、令和3年6月の最高裁決定においても、夫婦同姓規定が合憲とされる一方、夫婦の氏に関する制度の在り方については、国会で論ぜられ、判断されるべきであるとされたところですが、依然として国会での議論は進んでいない状況です。よって、国及び政府におかれては、選択的夫婦別姓制度について積極的な議論を行われるよう強く要望いたします。

議案番号・件名	熊本自民	自民党	公明党	市民連合	共産党	無所属議員	議決結果
議第222号 令和3年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決
議第225号 熊本市附属機関設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
議第226号 熊本市現代美術館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
議第227号 熊本市環境基本条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
議第293号 令和3年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決

市議会からのお知らせ

第4回定例会は、11月29日(月)～12月17日(金)

詳しい会議日程は熊本市議会ホームページをご覧ください。

★傍聴についてのご案内

感染症拡大防止の取り組みとして、本会議の直接傍聴についてはできる限りお控えいただき、インターネット中継による視聴のご協力をお願いする場合がございます。詳しくはホームページをご覧ください。

本会議…どなたでも自由に傍聴することができます。

傍聴希望の方は、本会議の開催される日に議会棟5階の受付にお越しください。

委員会…委員会室外に設けられたモニターテレビを通じて、どなたでも自由に視聴することができます。

★インターネット中継をしています

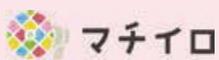
定例会、臨時会の本会議及び予算決算委員会は市議会ホームページで生中継・録画中継を行っています。

手話通訳の放映…本会議の映像に手話通訳の画面表示を行っています。

委員会のインターネット放映…無料動画配信サービス(YouTube)を活用し、委員会のインターネット放映を行っています。

★市議会だよりは無料アプリ「マチイロ」からもご覧になれます

無料行政情報アプリ「マチイロ」へ市議会だよりを掲載しています。ご登録いただけますと、スマートフォン等で市議会だよりをご覧いただけます。最新号の発行をお知らせする他、平成30年度以降発行のバックナンバーもご覧いただけます。ぜひご登録ください。



マチイロ

検索

<https://machihiro.town/>



★市議会ホームページの音声読み上げサービスをご利用ください

ご高齢の方や視力の弱い方、目の疲れやすい方にも快適にホームページをご利用いただけるよう、市議会ホームページに音声読み上げサービスを導入しています。

★点字・音声版を発行しています

希望される方は、下記の議会局までお電話いただくか、必要事項(住所・氏名・電話番号・点字か音声のどちらを希望するか)を記載の上、メール・FAX・郵便にてご連絡ください。

★会議録の閲覧ができます

平成3年以降の定例会・臨時会会議録及び平成15年5月以降の各委員会会議録を市議会ホームページに掲載しています。それより以前の分については、議会図書室等で閲覧することができます。

★皆様のご意見をお寄せください

議会だよりをさらに良いものにしていくためにご意見・ご感想を募集しております。送付先:下記の議会局までお願いします。



年末・年始にあたり

公職選挙法の規定により、議員が年賀状等のあいさつ状を出すことは制限されておりますことから、年末年始のごあいさつは失礼させていただきます。皆様にはご理解いただきますようお願い申し上げます。

次のような事項につきまして、公職選挙法で禁止されています。

議員の寄付禁止

- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 地域の行事(祭り等)への寄付(御樽)や差し入れ
- 葬式の花輪、供花 ● 病気見舞い
- 入学、卒業祝い ● お中元やお歳暮



時候の挨拶状の禁止

- 答礼のための自筆によるものを除き、議員が年賀状や寒中見舞い等時候のあいさつ状を出すこと。



編集後記

議会広報委員会 (10名)



三森至加委員長



山本浩之副委員長



田中敦朗委員



光永邦保委員



吉村健治委員



齊藤博委員



高瀬千鶴子委員



島津哲也委員



荒川慎太郎委員



古川智子委員

今回、広報委員会の新たな試みとして、「高校生と熊本市議会議員の意見交換会」を開催いたしました。今後もこのような活動を定期的に行いたいと考えております。市議会をもっと身近に感じていただけるような市議会だよりの作成を目指し、これからも広報委員会一丸となって取り組んでまいります。

山本 浩之 議会広報副委員長

発行/熊本市議会
編集・文責/熊本市議会広報委員会

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL.096-328-2684(議会局政策調査課)
FAX.096-324-3284 第40号

電子メール
gikaiseisakuchousa@city.kumamoto.lg.jp

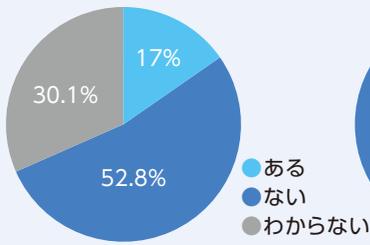
千原台高校2年生176名を対象にしたアンケート集計結果

熊本市議会では、親しみのある分かりやすい議会を実現させること、市民に市議会への理解と関心を深めてもらうことを目的に、若い世代を対象とした市議会に関するアンケートと意見交換会を実施しました。

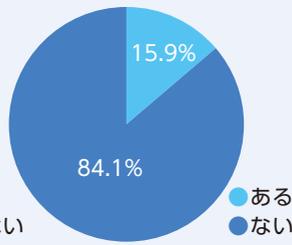
今回は熊本市立千原台高等学校2年生176名の皆さまに、熊本市議会に関するアンケートと意見交換会にご協力いただきました。

1. 政治について

Q1-1 政治について興味はありますか



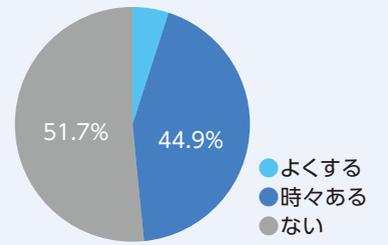
Q1-2 政治について身近に感じたことはありますか



Q1-3 Q1-2で「ある」と答えられた方はどのような時に身近に感じましたか

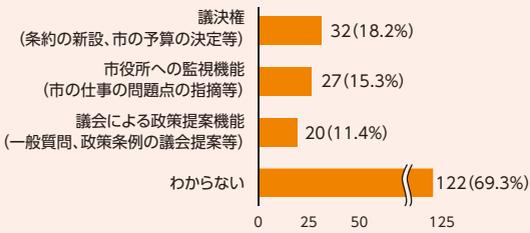
- 選挙 (12)
- ニュースで報道されているのを見たとき (3)
- 街頭演説 (3)
- 税金 (3)

Q1-4 家族や友達と政治について話すことはありますか

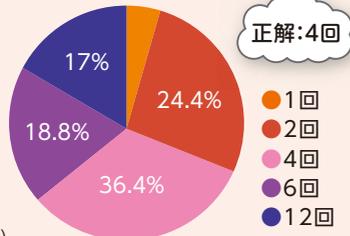


2. 熊本市議会について

Q2-1 熊本市議会の役割としてあなたが知っているものを教えてください(複数回答可)

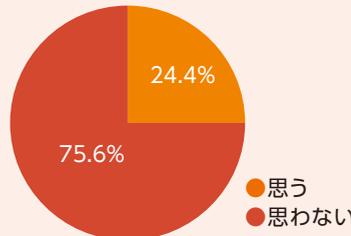


Q2-2 熊本市議会(定例会)は一年に何回開かれていますか

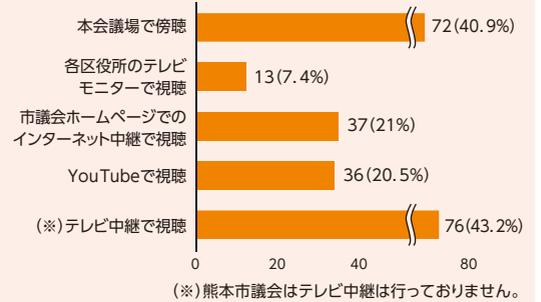


正解:4回

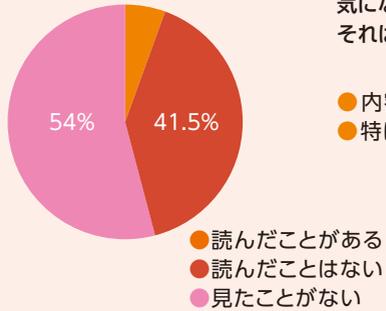
Q2-3 機会があれば熊本市議会を傍聴(視聴)してみたいと思いますか



Q2-4 熊本市議会を傍聴(視聴)する手段について知っているものを教えてください(複数回答可)



Q2-5 「くまもと市議会だより」を読んだことがありますか



Q2-6 Q2-5で「読んだことがある」と答えた方へ。気になる記事はありましたか。それはどんな記事でしたか。

- 内容は覚えていない(3)
- 特にない(2)

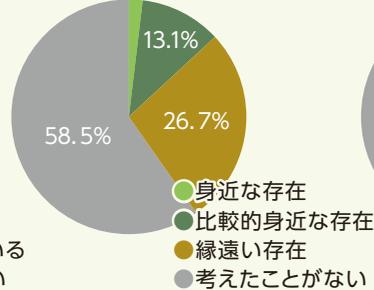


3. 熊本市議会議員と選挙について

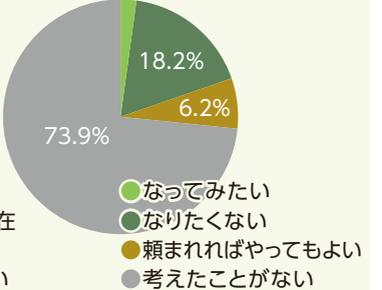
Q3-1 熊本市議会議員がどんな仕事をしているか知っていますか



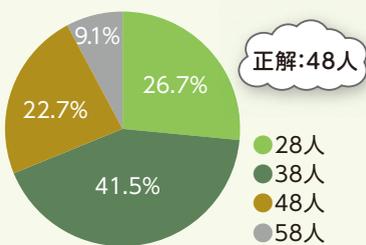
Q3-2 あなたにとって熊本市議会議員はどのような存在ですか



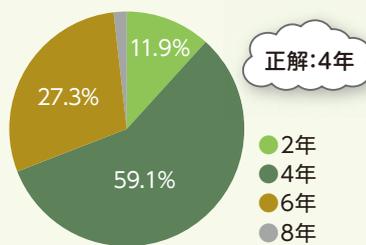
Q3-3 熊本市議会議員という職業についてどう思いますか



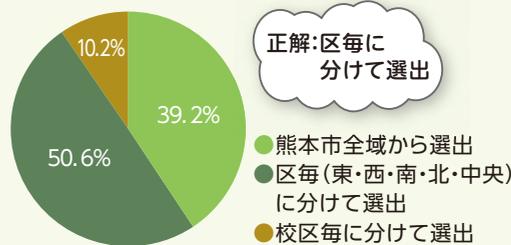
Q3-4 熊本市議会の議員定数は何人だと思えますか



Q3-5 熊本市議会議員の任期は何年だと思えますか



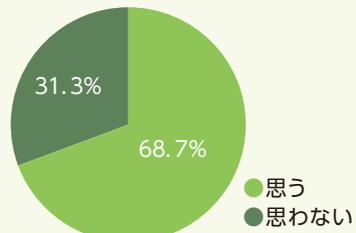
Q3-6 熊本市議会議員の選挙はどのように行われていると思えますか



Q3-7 18歳になると選挙権があることを知っていますか



Q3-8 選挙権を得たら選挙に行ってみたく思いますか



Q3-9 Q3-8で「思う」と答えた方のみ回答(理由)

- 投票してみたいから(14)
- 自分の意見を反映させるため(11)
- 選挙に参加したいから(10)
- 興味や好奇心から(9)
- 政治に参加したいから(8)

Q3-10 Q3-8で「思わない」と答えた方のみ回答(理由)

- 政治について興味、関心がないから(16)
- 選挙についてよく知らないから(13)
- 面倒くさい(5)



4. その他

Q4-1 今後熊本市にかなえて欲しい(こうなればいいと思う)ことはありますか

- 特にない(17)
- 遊ぶ場所を増やして欲しい(14)
- もっと都会にして欲しい(10)
- 交通の便をもっと良くして欲しい(9)
- 電車やバスの本数を増やして欲しい(8)
- ライブ会場をつくって欲しい、増やして欲しい(5)

10月11日 意見交換会を終えて

アンケートに協力いただいた熊本市立千原台高等学校2年生の代表者の皆さまと、意見交換会を開催しました。アンケート結果を見ながら、高校生が議会や議員に対して様々な意見交換を行いました。

事後アンケート

今まで、市議会が市にどのような働きをしているのかわかりませんでしたが、今回の意見交換会で議員さんは市民の様々な世代の悩みを直接聞いて、議会に提案してくださっているのだと聞いてとても驚きました。

市議会議員の方は、普段から市民の気持ちを考えて仕事をされていることを知って、自分たちの気持ちと議員の方が考えていることが重なる部分があるなと思いました。自分たちは来年から選挙権を持つことになるので、選挙に参加して気持ちが伝われば良いなと思いました。

